

# 八束公民館報

八束公民館報 第4号

〒690-1404 松江市八束町波入2219-2 電話 (0852) 76-3663 FAX (0852) 76-3669  
松江市八束公民館 E-mail : kominkan@daikonshima.or.jp



♪11月7日に行われた小中合同音楽会の様子♪

## 『八束学園支援地域本部』起動開始

松江市立八束小学校

校長 大森広子

平成二十一年度より、松江市教育委員会主管による文科省委託事業として「学校支援地域本部事業」が、市内四中学校区（一中、四中、湖南中、本庄中・小）をモデル校区にスタートしています。地域と保護者のボランティアさんが学校・児童生徒の力強い応援団になつてきています。

平成二十二年度からは、松江市小中一貫教育全中学校区実施にあわせ、学校・家庭・地域が協働した地域ぐるみの教育「よこの一貫教育」を推進するため、

市内全中学校区に学校支援地域本部を設置し、本事業開始となりました。

ここ八束中学校区では、校長室だより「八束っ子三十八号」でお知らせしたとおり「八束学園支援地域本部」として設置し、八束学園推進協議会委員さんが役員です。学校・家庭・地域をコーディネートされる方が学校支援地域コーディネーターの木村二美さんです。早速、小学校・中学校に地域ボランティアの方の支援が始まっています。

今まで、公民館のお世話を来校していただいている読み聞かせボランティア、書き初め講師ボランティア、クラブ活動講師ボランティアなど引き続き継続する事業と木村地域コーディネーターがコーディネートする事業とあります。機を見て、八束学園地域支援本部事業のよりよい組織になればと願っています。

何卒、ご理解いただき、ご支援、ご協力をお願ひします。

図書補修ボランティア（渡部倭子さん・萩原利枝さん・川上徳代さん）の方々からいただいた感想です。

「ご近所知り合いの子ども達が話かけ大変楽しかったです。」「立派になつたね。行儀がいいね。保育所の時と比べてあまりしつかりしていく、びっくりしました。」「大きくなつても小さい頃の面影があるね。懐かしい子ども達の顔を見たら元気ができるね。」

学校環境ボランティア（松本尚子さん（小原流一級家元教授）として、玄関、階段踊り場、トイレ等、お花を校舎内に生けていただき、環境を明るくしていただいています。

木村二美地域コーディネーターとして大変嬉しい言葉をいただき、地域コーディネーターとして大変嬉しい言葉をいただき、学校へ入つて子ども達と地域の方と交流が出来て良かったとほつとしました。これからも地域の皆様の協力をよろしくお願いします。ボランティア募集をしていきます。学校にどんどん入つて活躍していただきますようお気軽に立ち寄り下さい。お待ちしております。

## 体育協会の活動について

八束町体育協会

会長 萩原 治

こんにちは八束体育協会です。体協では、町民の皆様にいろいろな運動競技に参加していただこうと思い、各種ニユースポーツの実施を企画しています。これは今までやった事がない方でも、気軽に参加していただける競技です。

六月十四日と二十一日には、ダイヤゾーンボールの練習会を行ないました。これはゲートボールと同じようなステイックでボールを打ち、ダイヤゾーンにボールを止めたり、ゲートをくぐらせたりする競技です。両日とも十数名の参加があり楽しんでいただきました。次回は十月に実施する予定です。

次はスナッケゴルフです。これはゴルフ競技に似たニユースポーツで、これも子供さんから大人まで一緒に、簡単に楽しめる競技です。夏休みの期間中、江島のテニスコートとなりの公園で開く予定です。

さらに硬式テニスの初心者教室を開きます。これは町民を主体に活動しているテニスグループのトワライタさんにお世話になりますが、八月から九月にナイトで週二回の四日間行います。ニュースポーツよりは少しハードですが四日間を通して出ていただいたら、ラリー、サーブ、レシーブ、ボレー等だいたいの基本を習得できます。九月下旬には中海テニス大会が近隣地区の愛好者を募って八束町で開かれます。いずれも日時が決まりましたら有線放送でお知らせしますので、ぜひご参加ください。

さて、十月十日には松江市民大運動会が市陸上競技場で開かれます。平成の大合併後三回目の大会になりますが、内容はリレーを除けばほとんどがニュースポーツの種目です。玉いれ、大縄跳び、タイヤ転がし、むかで競争などです。

各地区の区長さんや体協の理事さんは大変お世話になりますが、この方たちからお声が掛かりましたら、是非ともご参加いただきますよう、よろしくお願いいたします。



6月14日に行ったダイヤゾーンボールの講習会の様子

## 消防団活動について

松江市消防団八束方面団

団長 安部 吉輝

今年度の消防操法大会は終わりました。これは、松江市八束郡の各消防団組織が消防技術の向上、及び組織の絆を深める事を目的に、毎年七月に消防学校で消火の技術とスピードを競う、年に一度の大きな大会です。

そのため各地域や所属する団員の皆様方は、週三回、夜間に、三ヶ月間大変な時間や労力を強いて練習して頂くわけです。しかしそれでもその苦労を見事にやりこなすのが若者の元気力であり、意気込みもあると思つております。

そこまでして大切な時間とパワーを費やす価値があるのか・・・。でも同じ仲間として支え合い、選手への励ましや、スタッフとして完璧な連携を目の当たりにした時、立ち会う者として感動が伝わり、その必要性を確信するところです。

人は変われる。特に若者は適応力の速さで劇的に変わることもできるのです。利害抜きの地域の同志として大変な事業をやり遂げた満足感、組織としての仲間意識、誇りを持つての地区への帰属意識、それがこうした団活動を通じ、脈々と受け継がれ地域社会の形成に貢献し、本人の自信にも繋がると肌で感じております。

今、地域社会の崩壊、コミュニティーは失われつつあるといわれるなか、この操法大会は目的意識をもち、一つの目標に向かい消防団規律のもと縦社会、横社会の繋がりのある組織活動の一端であり、その地域社会のためにも全員が一丸となつてているところです。

我々の地域の安心と安全は我々が守る。当然これが本来の団活動の原点であり最重要な任務であるというのは一人一人が深く認識をし、町民の方との相互関係のもと地域の防災、防火活動を実践しております。さらに、町民の方や団員に貢献できればと、今後の八束町を支える若者にパワーをもらい、若者に期待も込めて尽力をしているところです。



7月4日に行われた消防操法大会の様子



## 平成 22 年度 八 東 公 民 館 予 算 書

## 収入の部

費　目		予算額	説　明
市 費	公民館指定管理料	12,911,905	松江市委託料
	社会人権同和教育 推進事業委託料	160,000	人権同和教育活動推進費
地元費	雑 収 入	300,095	会場使用実費 利息 等
	寄 付 金	100,000	各サークル寄付金
緑 越 金		0	
合 計		13,472,000	

## 支出の部

費　目		予算額	説　明
人 件 費	給料	4,103,700	職員給料
	諸手当	1,103,930	職員諸手当
	職員福利厚生費	1,058,642	社会保険料 等
管 理 費	運営協議会費	240,000	旅費 等
	一般管理費	4,916,728	需用費 役務費 委託料 等
事 業 費	総務部費	85,000	館報 公民館たより 用紙代等
	青少年部費	160,000	青少年健全育成 子ども会 等
	文化部費	660,000	盆踊り 文化祭 ふるさとカレッジ 等
	市民憲章推進費	120,000	クリーンやつか 市民憲章かるた大会
	社会人権同和教育 推進事業費	170,000	視察研修 研修会 等
	地域活動費	130,000	やんべなウォークラリー 交流活動 等
	研修活動費	530,000	研修費 旅費 運協連・館長会負担金
	総合補償費	194,000	行事傷害補償 職員災害補償
合 計		13,472,000	

## 平成 22 年度 八 東 公 民 館 事 業 計 画

専門部	事 業 予 定
総務部	運営協議会 (年 4 回)
	館報 (7 月)、公民館だより (毎月 1 回)
	クリーンやつか (4 月・10 月)
	読み聞かせ (毎月 1 回)
	松東ブロック事業 (研修、学習発表会)
研修部	人権同和教育 (研修会、総会)
	市民憲章かるた大会 (2 月)
文化部	文化祭 (11 月 6 日・7 日)
	盆踊り (8 月 13 日)
	ふるさとカレッジ (年 10 回)
	家族体験活動、世代間交流
	文化講座 (3 月)
	伝統文化 (しかん節・島弁タイムズ)
青少年部	青少年健全育成 (研修会、総会、各地区活動)
	子ども会 (年 10 回)
	リーダー研修
	子ども安全対策事業
体育部	総会・理事会・支部長会
	町民大会 (ソフトボール・ソフトバレー・グラウンドゴルフ)
	市民体育祭 (大運動会・ソフトボール・バレー・卓球)
	町民講習会 (ダイヤソーンボール・スナックゴルフ)

## あとがき

平成 22 年度から公民館運営協議会（運協）主管の公設自主運営による八 東 公 民 館 が 発足し、その第 1 回目の館報です。今回は 3 名の方に寄稿して貰いました。

館報や公民館だよりの広報誌を通して、八 東 公 民 館 の 事 業 についてより一層ご理解して頂きますよう願っています。



公 民 館 ス タ ッ フ
職 館 長 // //
安 門 入 竹
部 脇 江 谷
美 冷 達 享
代 子 也 祐